

社会資本総合整備計画事後評価書(案)

令和 7年 月 日

計画の名称	和泉市における安全で快適な生活環境づくり（防災・安全）										
計画の期間	令和3年度 ～ 平成6年度（4年間）				交付団体		和泉市				
計画の目標											
下水道整備により、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。											
計画の成果目標（アウトカム指標）											
・対象施設について、ストックマネジメント計画に基づいた点検・調査を実施する。											
アウトカム指標の定義及び算定式											
① スtockマネジメント計画に基づいた点検・調査実施率 ストックマネジメント計画に基づいた点検・調査の実施箇所／ストックマネジメント計画に基づいた点検・調査予定箇所（約1,000箇所）								定量的指標の現況値及び目標値			備考
								当初現況値 R3当初	中間目標値 R5末	最終目標値 R6末	
								0%	75%	100%	R3年度より社会資本整備総合交付金（通常）より防災・安全交付金（通常）に変更。 （R2年度は当初より予定なし。）
全体事業費	合計 (A+B+C)	65 百万円	A	65 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C/（A+B+C）	0.0%	

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期										
事後評価の実施体制					事後評価の実施時期					
事業担当課において数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証し、その結果に至った要因等を分析した。その検証結果を踏まえ今後の方針を検討するとともに、その評価に透明性、客観性、公正さを反映させるため、学識経験等を有する第三者による事後評価委員会に意見を求めた。					令和7年度 公表の方法					
					市ホームページにより公表					

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業														上段：計画 下段：実績				
A 基幹事業																		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
											R2	R3	R4	R5	R6			
A07-001	下水道	一般	和泉市	直接	和泉市	一	改築	和泉市公共下水道改築事業	点検・調査箇所N=1,000箇所 点検・調査箇所N=1,029箇所	和泉市						65 27.3	全体事業費は、各年度における国費額を下水道事業の国費率1/2で割り戻した額の合計 公共下水道改築事業の点検調査については、ストックマネジメント計画の策定期間が令和3年3月末となった結果、令和3年度年度の交付金要望ができなかった。	
																65 27.3		
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
										R2	R3	R4	R5	R6				
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	
C 効果促進事業																		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
										R2	R3	R4	R5	R6				
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況							
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・ストックマネジメント計画に基づいた点検・調査を行ったことにより、既存下水道施設の健全度を把握することができた。					
II 定量的指標の達成状況	指標①（ストックマネジメント計画に基づいた点検・調査実施率）	最終目標値	100%	算定式	$\frac{1,000\text{箇所}(\text{※1})}{1,000\text{箇所}(\text{※2})}$	目標値と実績値に差が出た要因	点検・調査においては、調査予定箇所に加え、近接部分など施工上適切と判断される箇所も含めて点検・調査を実施したことにより、実施率の向上に繋がった。
		最終実績値	103%	算定式	$\frac{1,029\text{箇所}(\text{※3})}{1,000\text{箇所}(\text{※2})}$ <div>計画期間5年間の増減 [+29箇所]</div>		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		【指標①】 ・既存下水道施設の状況を確認できたことにより、今後の改築・修繕計画の作成に繋がった。					
3. 特記事項（今後の方針等）							
＜指標の数値について＞ 【指標①】 (※1) 計画変更年度 (R2年度) における、計画最終年度（R6年度）までの点検・調査の実施箇所の目標値 (※2) 計画変更年度 (R2年度) における、計画最終年度（R6年度）までの点検・調査箇所の予定箇所数 (※3) 計画最終年度末 (R6年度) までの点検・調査の実施箇所の実績値							
＜和泉市公共下水道改築事業＞ ・引き続きストックマネジメント計画に基づき下水道施設の点検・調査を進める。 ・点検・調査結果より策定した下水道施設の修繕・改築計画に基づき修繕・改築を行う。							